

地域固有の木造伝統住文化と安全な暮らしが両立する住まいとまちの実現に向けて
2010年2月6日(土) 午後1時～6時頃 (開場 午前12時半)

KARTH 防火セミナー

『各地の伝統的な木造住文化と歴史的まちなみを 地震や火災から護り抜く』

各地で近い将来、大地震発生が危惧されている中で、各地の暮らし、歴史文化を地震・火災から護り、安心して暮らし続けられる住まい・まちづくりを実現していくための社会的整備が急務の課題となっています。

その中で、当会では1999年以降、さまざまな分野の多くの方々のご指導・ご協力により、京町家をモデルに、伝統木造住宅(=伝統構法の木造住宅)の地域固有の文化を活かした防火・耐震性向上手法の研究開発に継続的に取り組んできました。このたび、その一環で、各地の建築実務者(設計者、施工者)向けの既存伝統木造住宅の防火改修設計・施工マニュアルと同マニュアル技術解説書を整備・発行いたしました。

最近の研究や技術開発によって、木や土を構造に使う伝統的な木造建築でも、法律が求める防火・耐震性能をはじめ、さらに高度な性能を実現する方法が見出せるようになってきました。伝統の住まいと歴史あるまちなみの魅力を守りながら安心して暮らし続けられる道が開けてきたのです。しかし、この情報をご存じない方が多いため、この機会に、各地の方々に、既存伝統木造住宅の歴史文化を活かした防火改修の設計・施工の要点を正しく理解していただくためのセミナーを開催いたします。

具体的には、防火改修の意義及び、木や土壁の自然材料を用いた伝統仕様を活かした比較的簡易な補強手法で、法令の防火性能を実態に即して確実に実現・維持するための設計・施工上の要点を防火実験や実例を通してビジュアルにわかりやすく解説いたします。

さらに、各地の防火上の課題を解決するための意見交換の場も設けています。是非、お気軽にご参加下さい。

プログラム(予定)

第1部 既存伝統木造住宅の伝統文化を活かした防火改修の設計・施工の要点を学ぶ(13時)

講師 安井 昇(桜設計集団一級建築士事務所、早稲田大学理工学研究所客員研究員)
田村 佳英(悠計画研究所)

第2部 京都の町家、歴史的街並みの防火特性を学ぶ(15時半)

西陣界隈の歴史的街並みのまち歩き(土蔵の防火対策含む)

第3部 防火・耐震改修事例の町家の見学

西陣ヒコバエノ家(日本で初めて防火・耐震改修の有効性を実験で検証した町家)
(展示)京町家の躯体の1/10模型・代表的仕口、各種防火実験材料・写真他

第4部 意見交換会(17時)

「各地の伝統木造住宅、歴史的まちなみの防火上の課題の解決策を考える」

<参加予定者>

米田英三 大工棟梁(米田工務店)、石田良雄 大工棟梁(石田工務店)、
廣部 捍 大工棟梁(廣部工務店)、渡邊照夫 大工棟梁(渡文工務)、
佐藤嘉一郎(佐藤左官工業所)、徳田敏昭(木製建具、トクダ) 他

懇親会(18時)



京町家の防火・耐震実験

会場 第1会場(第1部のみ) 西陣町家・古武(ふるたけ) (駐車場・駐輪場はありません)

会場 第2会場 第3部以降 西陣ヒコバエノ家(駐車場はありません)

当日配布資料 住まい手向け既存伝統木造住宅の防火・耐震改修の手引きリーフレット(カラー刷り)他

参加費 1000円(テキスト代は別)、懇親会 1000円(軽食・飲み物付き)

テキスト 既存伝統木造住宅の防火改修設計・施工マニュアル 1000円
同マニュアル技術解説書 1500円

定員 70名(申込み先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます)

参加方法 2/5(金)までに、お名前、所属、連絡先電話番号・FAX・メールアドレス、懇親会の参加の有無を明記の上、FAX又はメールでお申し込み下さい。お申し込み頂いた時点で参加受理とさせていただきますので、その後のご連絡は割愛させていただきます。



第1会場



第2会場

参加申込先・問合せ先、主催

関西木造住文化研究会(略称 KARTH:カース。Kansai Association for the Research in Traditional Housings)

TEL 075-411-2730 悠計画研究所内、FAX 075-411-2725、E-mail: info@karth.sakura.ne.jp
<http://karth.blog13.fc2.com/> 京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町 632(西陣ヒコバエノ家)

共催 (財)京都市景観・まちづくりセンター

協賛 (社)日本建築学会近畿支部、(社)日本建築家協会近畿支部、(社)京都府建築士事務所協会、
(社)京都府建築士会、京都左官協同組合

会場案内図・交通アクセス

第1会場(第1部のみ) 西陣町家・古武(ふるたけ)

京都市上京区大宮通五辻上ル芝大宮町 28

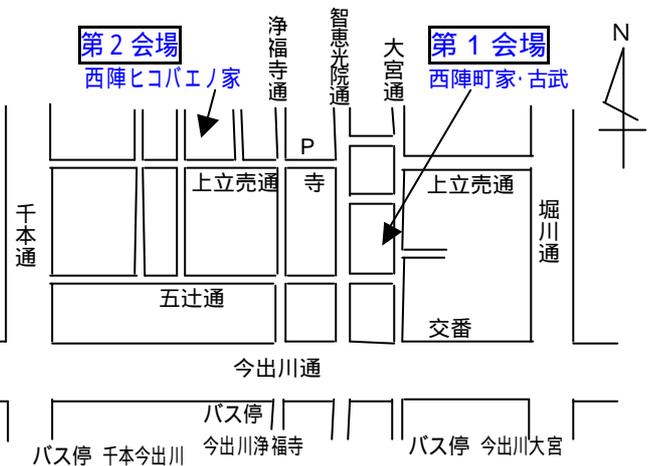
TEL 075-441-9620

JR 京都駅からの交通アクセス 所要時間 約 40分

地下鉄烏丸線「烏丸今出川」下車、今出川通沿いを西方向へ徒歩約 15分、又は今出川通の西行きバスに乗り、「今出川大宮」下車、徒歩 2分。

大宮通沿い西側、木造 2階建て、高堀造り

第2会場 西陣ヒコバエノ家(上記参加申込先と同じ)



トオリニワ

< 第2部 西陣界隈の歴史的まちなみの例 >



KARTH (カース)とは

「関西木造住文化研究会」(略称 KARTH)は、「地域固有の木造伝統住文化と暮らしと安全性が両立した住まい・まちづくりの実現」をテーマに、木造伝統住文化の今後の都市への再生の意義、再生の可能性、具体的な再生・継承・発展手法等を、各種実験等を通して、総合的・工学的・体系的に研究・検証・提案・実践することを目的として1998年11月に発足しました。

各地の木造伝統構法の伝統技能者(大工棟梁、左官技能者、銘木問屋他)、様々な分野の研究者(耐震・防火・防災他)、設計者、施工者、市民の方々等、多くの方々のご指導・ご協力による協働研究方式で、伝統構法の木造住宅の地域固有の文化を活かした防火・耐震性能向上手法の研究開発と、研究成果を各地の伝統木造住宅・歴史的まちなみの保全・再生に活かすための啓発活動に1999年以降、継続的に取り組んでいます。また、地震時の被害を最小限に抑えるために、2004年新潟県中越地震を契機に KARTH 地震ネットを立ち上げ、地震で被災した住宅の修復技術の情報支援活動にも取り組んでいます。

(チーム構成)耐震研究チーム、防火マニュアル作成チーム、被災指針作成チーム、防災情報普及チーム

本セミナーは、国土交通省の平成21年度住まい・まちづくり担い手事業(長期優良住宅等推進環境整備事業)の補助を受けて開催するものです。